

## 東京大学千葉演習林 利用上の主な注意

フィールドでの活動には、様々な危険が伴います。安全に活動していただくため、以下の点に特にご注意をお願いいたします。

### (事前準備)

- ・利用代表者は、注意事項や必要な装備を参加者全員に伝達してください。また、緊急連絡先（利用申込書-3）に加え、アレルギーの有無（利用申込書-2）や注意事項など、参加者の情報を把握し適切に対処してください。
- ・野外活動を行う際は、万一の怪我等に備え、適用できる保険等（レクリエーション保険等）に加入すること、あるいは、加入済みの保険等（労災保険等）が適用できるのか確認することを求めています（教育研究計画書・利用申込書-1）。

### (当日)

- ・千葉演習林では一部の例外を除き、野外活動時にはヘルメット着用を義務付けています。
- ・毎日、活動開始前に体調不良者がいないか確認し、体調不良者や装備不足者は活動を休ませるなど適切に対処してください。
- ・体調不良等で宿舎に残る人がいる場合は、戸締りや地震等における安否確認のため、出発前に宿舎担当職員等にその旨を必ずお伝えください。
- ・時間に余裕を持って行動し、明るいうちに活動を終え、演習林に報告するようにしてください。活動終了が演習林側で確認できない場合は、捜索を行います。
- ・フィールドでの活動には、それに適した服装・装備で臨んでください。  
例：長袖長ズボン、歩きやすくしっかりした靴や長靴、冬であれば防寒具、夏であれば熱中症対策（十分な飲み物や塩分）、雨具、（状況によって）軍手や手袋 等
- ・千葉演習林の地形は大変急峻です。参加者の技量や体力に応じた無理のないコース・場所の設定を心がけ、林道や歩道から転落・滑落しないよう十分に注意するとともに、落石や落枝等にも注意し、可能性のありそうな箇所にも長く留まることを極力避けてください。
- ・フィールドでは様々な不測の事態が発生しますが、悪天候時（降雨、降雪、強風、雷）はそのリスクが高まります。演習林側から活動中止等の指示をすることもあります。利用代表者は責任を持って危険回避の措置（中止判断等）を取ってください。演習林教職員が複数同行する際は、演習林側の責任者を明示します。
- ・林道は狭く、路面も滑らかではなく、運転には技量を要します。車両で走行する時は必ず徐行し、転落しないよう十分注意してください。林道走行を許可しないこともあります。
- ・林内には危険な生物も生息しています。ハチ（スズメバチ等）の巣や成虫を刺激しないよう注意し、黒い服装を避け、ハチアレルギーを持つ人はエピペンを携帯することを推奨します。毒蛇（マムシやヤマカガシ）は、捕まえようとしたり刺激しないでください。マダニの多い場所（草むらや藪）はなるべく避け、あとで服をよく払って取りつかれていないか確認し、夜には入浴してください。動物を発見しても近づかないでください。
- ・千葉演習林にはヤマビルが生息しています。忌避剤や食塩を適切に使えば吸血被害を回避できます。吸血を始めていないことも多いので、見つけても慌てずに対処し、急に動いて滑落などしないようにしてください。吸血に伴う感染症等の心配はないようです。
- ・活動の中で危険情報（たとえば土砂崩れ、施設近くの本巣、看板や案内杭の倒壊など）を発見したら、演習林に連絡（フィールドバック）をお願いします。

以上の注意を守るため、チェックリストを用いて確認することが望ましいです。チェックリストの例は下記の千葉演習林 HP から入手できます。

[http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/chiba/utilization/anzenchekku\\_list.pdf](http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/chiba/utilization/anzenchekku_list.pdf)

または

<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/chiba/utilization/> のページにある安全チェックリスト（参考）

より確認してください。

ご不明な点は、担当者にお問い合わせください。

(2020年7月1日改訂)